



## 他人の気持ちを思いやれるやさしい子 に育てるにはどうしたらよいのですか



私たちは、多くの人との関わりを持ちながら日常の生活を送っています。その中で無意識のうちに相手を傷つけたり、差別的な言動をとってしまったことはありませんか？また、そのような場面に出会ったことはありませんか？

このような時に、「**ハッと**する」「**おかしい**」「**変だ**」と**感じる**ことができる**人権感覚**を磨くことが、人間関係を育む上で大切です。

また、障害をもつ人やお年寄りに対して心ない言動をとってしまったたり、外国人というだけで偏見をもって接してしまったりすることなどがないように、正しい知識と「**共生の心**」をもって接していくことが必要になってきます。

◎人権教育における今二小の目指す児童像は・・・

「**自分のよさを知り、他人の気持ちを思いやれる心豊かな子**」です。

↓そのために

◎今二小での取り組みは・・・

◆日常の授業や生活の中で、自分自身や友達のよさが分かり、だれとでも仲良く活動できるように指導をしています。

- ・友達同士の呼び方、言葉遣い
- ・グループ活動や体験活動などでの認め合い、助け合い
- ・頑張ったことへの賞賛
- ・意見が対立した時に相手の気持ちを考えさせる
- ・人権にかかわる授業の実施 など

◆人権週間を実施しています。

- ・人権にかかわる授業を各学級で実施
- ・人権意識を高める活動（人権作文による授業）など

◆障害のある人との交流活動を行っています。

- ・主に、4年生が総合的な学習の時間で実施

◆人権尊重の標語・ポスター・作文コンクールへ応募しています。

- ・特に人権尊重の標語は、意識を高めるためにも家族の人に一緒に考えてもらいながら、全校生を対象に募集しています。 →作品を校内に掲示しています。



**自分も他人も大切にできる心の優しい子**を育てていくためには、学校だけでなく家庭の協力も必要です。

↓そのために

◎各家庭で心がけてほしいことは・・・

◆頑張ったこと・できるようになったことなどをたくさんほめる。

- ・小さなことでも心をこめて！
- ・お手伝いなど役割を果たした時に「ありがとう」の一言を！
- ・できないことばかりを責めない

→ まずは**自分自身を好きになる気持ち**を育てることが大切

◆人の悪口（差別的な）を子供の前で言わない。

◆家族間の言葉遣いに気を付ける。

→ 周囲の影響を受けやすいので、家庭の中での言葉遣いにも気を付けましょう。